

農 大

令和6（2024）年度版

令和6年5月31日発行
愛知県立農業大学校

だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



鉢物・緑化木専攻



CONTENTS

- 1 専攻紹介 鉢物・緑化木専攻
- 2 おすすめの産品紹介
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス
学生会定期総会・全体集会の開催
農業技術研修が開講
経営管理研修を開催
- 5 お知らせ
オープンキャンパス、令和7年度入学者選抜試験、
あいち農業経営塾受講生募集

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

はちもの りょっか ぼく

鉢物・緑花木専攻



鉢物・緑花木専攻は、日本一の生産を誇る愛知県の花を支える“気概ある学生”13人（2年生7人、1年生6人）がメンバーです。広さ1,400m²の温室や250m²のビニルハウスで、年間5万鉢・200種類以上の植物を4つの部門（鉢花、観葉植物、洋ラン、緑花木）に分かれて育てています。

栽培した植物は、市場出荷だけではなく、毎週水曜の実習販売や毎年12月の農大祭で販売しています。季節ごとによって変わっていく旬の花や観葉植物を寄せ植えした商品や、室内でも楽しめるように加工した商品も販売しています。また、県内外の関係施設を見学して、よりよい生産方法や需要に応じた販売方法を学んでいます。

私たちは、実習や販売を通じて、花を見た方、買ってくれる方の心の癒しになって笑顔になってくれるよう、日々、楽しく実習を頑張っています。

実習販売の様子



鉢花



鉢花の栽培では、種から芽が出て、花が咲くまで見届けて出荷できることが楽しいです。さらにその花でお客様が癒されるといいなと思っています。

【栽培種類】
シクラメン、ニューギニアインパチェンス、ペゴニア、ポインセチア、花苗など



観葉植物



観葉植物は、室内インテリアに最適な植物です。一般的な品目だけでなく、おっと驚いてもらえるような商品が作りたいです。

【栽培種類】
アンズリウム、スパティフィラム、ポトス、カラテア、フィットニア、シンゴニウム、パキラなど



洋ラン



洋ランは商品にするまで3年など時間のかかる花が多いです。シンビジウムは夏に山に移動するため管理は大変ですが、年末の需要期に向けて頑張って栽培しています。



【栽培種類】

シンビジウム、コチョウラン、デンドロビウム、多肉植物など



緑花木



花木は屋外でも複数年に亘って育てられる品目がいろいろあります。アジサイやミニバラだけでなく、ちょっと変わった緑花木などもあるのでぜひ育ててみてください！



【栽培種類】

アジサイ、ブルーベリー、フッキソウ、ミニバラ、マーガレット、苗物など



県内外の関係施設への校外学習



農大祭で恒例の花販売



ハイドロカルチャーやテラリウム



楽しい加工実習



寄せ植え

ハーブを使ったパスタ



おすすめ産品

農大では、毎週水曜日午後3時から学生が栽培した農産物の直売（実習販売）を行っています。

<養 鶏>

さまざまな種類の卵パックと本校で生産された名古屋コーチンの卵を使ったプリンも販売しています。卵は赤玉と白玉からなる紅白ミックスや名古屋コーチンに加え、烏骨鶏、アローカナなどの希少鶏種の卵、通常よりサイズが大きい二黄卵も取り扱っております。是非お越しください。



<鉢物・緑花木>

季節ごとに様々な鉢物や苗物を販売しています。5月のアジサイ、6月のニューギニアインパチェンス、7月～9月のヒマワリやコスモスなどの花苗に加え、春～秋は観葉植物や多肉植物のハイシーズンで何種類もの品目が直売に並びます。11月以降は、シクラメン、ポインセチア、シンビジウム、コチョウランなど贈答用にも最適な品目が目白押しです。お楽しみに！



<切 花>

バラ、ストック、ヒマワリ、キクなど季節の花を、一束5～7本入りで販売。お勧めは、最近栽培を始めたピンクのバラ「リメンブランズ」、ピンクのスプレーバラ「ファンシーローラ」、いつまでも色あせない「スターチスのドライフラワー」です。

季節のイベントに合わせ、ミニブーケ、花束を作成して販売することもあります。お気に入りの花を見つけにお立ち寄りください！



<作物>

化学農薬と化学肥料を使用しない環境にやさしい栽培法で作ったお米をはじめ、多種多様な品種を販売しています。

ほ場にはカエルやカブトエビ、ザリガニ等が生息しています。豊かな生態系の中で栽培されたお米をぜひご賞味ください。



<果樹>

ブドウやナシをはじめ多くの品目を販売しています。毎年、直売ではブドウのシャインマスカットやナシの幸水などの癖がなく食べやすい品種が人気です。

他にも、本校では品目ごとに数多くの品種を栽培しており、中には一度食べたならもうそれしか食べたくなくなるような癖の強い品種も多々あります。今年はいろいろな品種に挑戦してみませんか。



<露地野菜>

年間を通して40品目の野菜を販売しています。どの野菜も新鮮で美味しいと評判で、直売で人気です。

特におすすめなのは6月から10月まで収穫する採れたてのスイートコーンと12月から6月まで収穫する完熟イチゴです。どちらも甘みを強く感じられるため人気になっています。

そのほかにも、ロメインレタスや芽キャベツ、ロマネスコ、伝統野菜の越津ネギなど、珍しい野菜も栽培していて、幅広い野菜を販売しています。



<施設野菜>

大玉トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、アールスメロンなど果菜類が中心です。

7月から9月までは植え替え期間のため販売をお休みしますが、10月下旬～6月下旬まで多くの品目を販売しています。

最近では食味向上にも取り組み、「旨味のあるトマト」などブランド化した商品も販売しています。



専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	6(0)	8(2)	6(1)	13(3)	13(4)	15(2)	12(6)	6(6)	79(24)
2年	7(2)	5(1)	9(2)	15(5)	14(7)	15(3)	15(6)	11(3)	91(29)
計	13(2)	13(3)	15(3)	28(8)	27(11)	30(5)	27(12)	17(9)	170(53)



ハンギングバスケットに挑戦！



2年生が、加工演習でハンギングバスケットに挑戦しました。花を栽培することには慣れていても、花を活用して商品とすることにはまだまだ不慣れで四苦八苦しましたが、屋外で壁に掛けて楽しめるバスケットが完成しました。



バラ「ファンシーローラ」、Coming soon

写真は、昨年11月に新規導入したスプレー咲きのバラ「ファンシーローラ」の現在の様子です。定植時には手のひらサイズほどだった苗ですが、枝を伸ばして折り曲げる→株元から新しい枝が伸びる→伸びた枝をまた折り曲げる、を繰り返すことにより、半年で大きく立派な株に成長しました。もうすぐ収穫できそうです。咲いた姿は…ぜひ実習販売にお越しただいて、実際に御覧ください。





雨の中の収穫

現在キャベツ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー等を出荷しています。2月の低温の影響か、抽苔して出荷できないものが増えてしまいました。このため、実習では抽苔する前に出荷できるよう収穫を急いでいます。

ほ場は粘土質で雨が降るとぬかるみやすいです。5月上中旬は雨が多く、いつもより作業の大変な日が多くなりました。しかし、学生は雨ニモマケズ、泥ニモマケズ、足を取られながらも日々頑張って収穫作業をしました。



学生が栽培したトマトやナスを使って調理しました！

加工演習で、学生が栽培したトマトやナスを使ってパスタやおやきを作りました。パスタはトマトソースを作ってパスタと絡め、おやきはナス味噌を小麦粉の生地で包んで作りました。

また、廃棄するしかなかったトマトを活用してドライトマトも作りました。ドライトマトはトマトを輪切りにして乾燥機で乾燥させました。トマトのうま味が凝縮されて噛めば噛むほど味が出て、おいしく仕上がりました。

学生は楽しく調理し、トマトやナスの無駄のない活用法を学ぶ機会となりました！



田植シーズン本格化！

5月は田植えシーズン真っ只中。コシヒカリ、ミルキークイーンからスタートし、あいちのかおりへと続いています。

今年から直進アシスト機能が付いた田植機を活用し、ICTを活用した最新技術を学んでいます。暑くなってきましたが、今年もおいしいお米ができるよう頑張って田植えに励んでいます。





多品目栽培ゆえの悩み

ブドウやナシをはじめ多くの品目を栽培しているため、作業適期が一斉に来てしまうことがあります。5月の作業は多いうえに、本摘果などの収量や品質に大きく影響します。そのため手際よさと丁寧さが必要で、限られた期間内で完了できるか非常に心配でしたが、毎週予定を立て学生たちが頑張って作業をこなしてくれたおかげで乗り切ることができました。しばらくの間は作業が少しだけ落ち着くので、次の作業に向けてしっかりと休めたらなと思います。



もうすぐ夏です

牛にとって過ごしやすい季節があったという間に終わってしまい、暑熱対策が必要な季節になりました。

一般的に、暑熱対策として牛舎内の送風機を稼働させ、牛体に直接風を当てることで牛を冷やすことを行います。この時に牛体が糞で汚れていると冷却効果が低くなってしまうため、牛体が綺麗であることがポイントです。そのため、暑熱期には定期的に牛を洗って綺麗な状態を保つようにしています。



春ヒナを導入しました

養鶏専攻では春と秋の年2回、ヒナの入雛があります。これまで、愛知県の特産地鶏の名古屋コーチンを始め、ボリスブラウン（赤玉鶏）やジュリアライト（白玉鶏）、特殊鶏の烏骨鶏、アローカナを飼育してきましたが、今年度は地元の「岡崎」の名前が付いた「岡崎おうはん」のヒナを初めて導入しました。

学生はヒナから成鶏までの飼養管理、成鶏になってからの採卵、そして廃鶏になって肉になるまでの一連の流れを学びます。今年は日ごとの気温差が激しく、ヒナにとって適切な環境を維持するためのボイラー調整が大変ですが、経験豊富な2年生の指導のもとで、1年生たちも慣れない温度・湿度の鶏舎内で汗を流しながら、ヒナを観察し鶏を見る目を養っています。



トピックス

令和6年度学生会定期総会・全体集会を開催しました

5月13日（月）に学生会定期総会が開催されました。学生会5役による運営は非常にスムーズに進行し、令和6年度の学生会活動が順調にスタートを切ることができました。

続いて、全体集会において生活指導や学生会等からの連絡があり、最後に岡崎市健康増進課こころの健康推進係の職員をお招きして「こころのトリセツ」をテーマとした講話がありました。



令和6年度学生会役員

学生会会長(吉田 勝哉)あいさつ



学生会は学生が充実した学校生活を送れるように、また、社会に出たときに自立していけるよう、学生自身が主体となって各種行事の企画・運営をしたり、学校施設の環境改善などに取り組んだりするための組織です。

今年度、なるべく多くの学生の意見を取り入れながら、より有意義な農大を築き上げていきたいと思っております。

新 役 員

(会 長) 吉田 勝哉

(副会長) 田中 咲蘭

(書 記) 森谷 雷

(会 計) 野田実乃里 (監 事) 岸 昂太

(役 員) 加納 工、西尾 優大、松井 幸生、中森 颯飛

農業技術研修が開講

5月8日（水）に新規就農希望者を対象とした「農業技術研修」が20～60才代までの受講生26名（男性15名、女性11名）で開講しました。本研修は離職者の職業訓練に位置づけられており、1月29日（水）の閉講式までの約9か月間、平日は毎日、本校で実習や講義等を行います。



研修生は、主にナス、ピーマン、ダイコン、ニンジン、ハクサイなどの露地野菜を栽培し、生産から出荷・販売までの実習や就農するために必要な基礎知識の講義を受けます。また、露地野菜だけでなく、切り花や果樹の栽培実習も行います。

今年度も、多忙でにぎやかな研修がスタートしました。

経営管理研修を開催（農業経営士協会、青年農業士連絡協議会、農業大学校による共催）

4月23日（火）に、「農業の経営継承の留意点（税務編）」と題し、税理士法人成和の渡邊利明氏による講演会を開催し、県内各地から86名の参加がありました。

講演会では、円滑な経営継承の必要性と十分な準備を行うことの重要性を説くとともに、漠然とではなく何をどのような手順で行うのかを正しく整理して進めていくべきと語りました。

最後に、渡邊氏から、「これを機会に経営継承について、話し合いのスタートをしていただければ幸いです」と述べられ、会場から大きな拍手を受け、講演会は終了しました。



お知らせ

オープンキャンパス

本年度も、下記の日程で5回開催します。本校の学生も参加して交流を深める機会もあるので、入学に関心がある方はぜひご参加ください！

① 6月8日（土） ② 6月22日（土） ③ 7月30日（火） ④ 8月6日（火） ⑤ 8月27日（火）

● 各回とも午前9時40分～正午

● 事前に参加申し込みが必要です。

※詳細は本校ホームページを御覧ください。

お知らせ

令和7年度入学者選抜試験

●一般推薦入学試験

出願期間 9月30日(月)～10月16日(水)

試験日 11月1日(金)

合格発表 11月13日(水)

試験科目 小論文(800字以内)面接試験

募集人員:定員100名のうち2/3程度

●一般入学一次試験

出願期間 11月12日(火)～11月27日(水)

試験日 12月10日(火)

合格発表 12月19日(木)

試験科目 数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験

募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※詳細は、本校ホームページを御覧ください。

お知らせ

令和6年度あいち農業経営塾 受講生募集

経営発展のためのノウハウを学び、将来の経営ビジョンを実現しましょう!!

■対象者

愛知県内の専業農家で、経営の改善・発展を目指している方

■定員

20名程度(応募者多数の場合は書類選考等を実施)

■受講料

24,000円

■開催期間

令和6年8月28日(水)から令和7年2月14日(金)まで全12回

■講座の内容

経営・財務・労務・マーケティング、トヨタ生産方式などの高度な経営ノウハウを習得できるよう、多彩な講師陣による講義を行います。また、経営計画の策定方法を学び、将来の経営ビジョンを明確にするとともに、その実現のためのスケジュールを立案します。

■申込方法

下記の本校ウェブページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、FAX・電子メールのいずれかで申し込んでください。受付完了後は、エントリーシートを送付しますので、必要事項を記入のうえ、返信してください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/r6keieijuku.html> (6/3から掲載)

■申込期限

7月25日(木)

■受講者の決定

8月8日(木)までに、応募者全員に受講可否を通知します。

